



ニャオざねが行く！ 熊谷七福神めぐり



熊谷七福神の概要

熊谷七福神は、熊谷市にある7寺で構成される七福神めぐりです。

熊谷七福神は、昭和17年2月発行の「熊谷市報」で、市民の健康増進と神さまを敬う気持ちを育てるために、市内の神社やお寺に七福神を決めて、七福神めぐりを昭和17年1月31日に設定されたという記事が掲載されています。

1 高城神社(大黒天)



高望屋堂尊を祀っている神社です。

境内には市の指定有形民俗文化財である常夜灯があります。



2 上之村神社(恵比須)



上之村神社は事代主神(恵比寿様)という商売繁盛の神様が祀られていることから七福神めぐりの1つとして設定されたそうです。

入り口の鳥居は熊谷市で一番古い鳥居として市の指定文化財になっています。拝殿には絶馬がたくさん飾られています。



3 石上寺(毘沙門天)



再建されてまだ新しい本堂は奈良の唐招提寺をモデルにしてとっても重厚なつくりです。

ご本尊は左手観音で、脇本尊としておの原様、松平忠国が奉納した毘沙門天の仏像(秘仏)が安置されています。境内にある桜は大変珍しい「熊谷桜」が植えられています。熊谷桜は突然変異で生まれた桜で、普通の桜よりも開花が早く、背が低いのが特徴です。



4 買断院(弁財天)



嘉永2年(1849年)の大洪水で荒川堤防が決壊して、大きな沼地ができました。明治10年、この沼地の近くに、水の神である弁財天を祀ったことがお寺の始まりだそうです。熊谷空襲で全壊してしまっただけ、昭和36年に再建されました。



5 東竹院(寿老人)



寿老人に設定された東竹院は、建久2年(191年)に創建されました。このお寺は道磨石のお寺で有名です。



6 赤城久伊豆神社(福祿寿)



赤城久伊豆神社は、山の神様「赤城神社」と水の神様「久伊豆神社」を一つの神社に合わせ祀っています。鳥居が二つあるのが特徴で、北側の鳥居は赤城山に向かって、東側の鳥居は忍城に向かって建てられています。



7 玉井寺(布袋)



今から1200年以上前に建てられたお寺です。境内に目の病気に効く井戸があったので眼病平癒感恩(目の病気を治してくれた恩返し)のために建てられたといわれています。この井戸を掘ったとき、出てきた玉のような石をお寺の宝物として祀っています。



協力 江南文化財センター 写真提供 熊谷市

ニャオざねの作者

「ことな」さんのプロフィール

昭和54年(1979年)3月生まれ。

大学卒業後、TV制作会社・印刷会社を経てフリーで、イラストレーター・コピーライターとして活躍中。作品には、熊谷市のマスコットキャラクター「ニャオざね」など多数。

「ことな」のペンネームは、大学時代の友人が大人になっても子どものように純粋な心を忘れないようにとつけてくれた。